



## 嚥下スクリーニングテストの方法

摂食嚥下障害は、高齢者にとって頻度の高い機能障害です。

しかし、存在に気づいていない方が多くみられます。

**食事再開前にスクリーニング検査を行うことで、誤嚥や窒息のリスクを軽減**することが出来ます。

嚥下スクリーニングテストは、**言語聴覚士だけでなく、医師や看護師もベッドサイドで簡単に行うことができます。**（テスト中誤嚥した時に、**吸引ができる職種**に限られます。）



☆反復唾液嚥下テスト  
意識的な嚥下ができるかどうかをみます。

唾液嚥下を**30秒**行ってもらい、喉頭隆起や舌骨を触診、**嚥下の回数**をみます。



☆改訂水飲みテスト  
嚥下状態、呼吸状態、**むせ**の変化をみます

- ・冷水3mlを口腔底に注ぎ、嚥下を行ってもらいます。
- ・その後、空嚥下を追加指示して、**30秒間に2回繰り返します。**



☆フードテスト  
嚥下状態、呼吸状態、**むせ**の変化をみます

空嚥下を追加指示して、**30秒間に2回繰り返します。**

< 評価 >

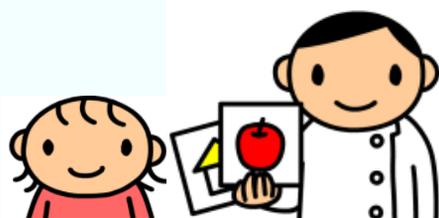
嚥下の回数が30秒間で**2回以下**

→嚥下障害疑い

<改訂水飲みテスト、フードテストの評価表>を用いて嚥下の評価を行います。評価点3点以下の患者さんの場合、「誤嚥の疑い」があると評価します。

	嚥下	呼吸※	むせ	その他
1点	×	×	×	
2点	○	×	×	
3点	○	○	×	
4点	○	○	○	フードテスト →口腔残留
5点				4点の症状・空嚥下が2回可能

※呼吸：喘鳴やSPO2低下等の呼吸状態の変化のこと



安全に食事を食べる、水分を口から摂るためにも、日常での観察事項に取り入れてみてください。不明な点や分からない事が有りましたら、言語聴覚士まで相談のご連絡をお願いします。

言語聴覚士 光野 朱音

### お知らせ

**第3回 院内NST研修会 担当:管理栄養士**

**8月14日(水)17:30~18:30 MGHホール**

**当院採用の栄養補助食品 説明試食会(予定)**

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい！

